

【新】第5次総合計画策定事業
 少子高齢化、地方分権、財政難などの課題に対応し、市民の安全で安心な生活と営みに資するため、行政の役割を明確にし、長期的なビジョンのもと、計画的で自主的な施策を展開するための次期総合計画を策定します。

新時代に適応するまちづくりへ

いま日本は、国際化、高度情報化、少子・高齢化といった時代の大きな潮流の真っ只中において、社会構造や経済環境に大きな変化をもたらしつつあります。また、国や地方の財政は年々悪化の一途をたどっており、将来における持続的な発展のため、財政再建が避けて通れない重要な課題となっております。

留萌市でも、長引く景気の低迷や激しい公共投資の減少により、これまで留萌を支えてきた経済構造が根柢から崩れる恐れがあるなど、厳しい試練にさらされています。まさに時代の大きな転換期を迎えています。

このため、新しい産業経済の構築や、慣例にとらわれない行政システムの追究など、様々な面で大胆な変革が求められています。

これからの新しい時代に適応するまちづくりを進めるためには、市民と行政が厳しい現実を共有し、地域の総力を挙げて新たな活路を切り拓いていくことが必要です。

このような市政の執行に対する基本的な考えのもと、「事務事業評価」や「予算査定」などを経て、市議会で決定した本年度の事業と予算について、ご紹介します。

【新】コミュニティFM広報事業
 災害時の緊急放送をはじめ、市政情報の広報活動の充実を図るため、市内のほぼ全域を放送エリアとし、即効性や反復性に優れたコミュニティFMを新たな広報媒体として活用を図ります。

【新】営口友好港湾提携15周年相互訪問事業
 営口港湾集団有限公司との友好港湾締結15周年を記念し、両港の友好交流を進めるため、相互訪問を行います。

8つの重点項目

- 少子・高齢化対策と福祉・保健・医療の一体的推進
- 地域経済活性化プロジェクトの推進
- 環日本海・対岸貿易の推進とフェリーなど内外航路の拡大による留萌港の活性化
- 高規格幹線道路などの道路網や上・下水道、治水対策などの都市基盤の整備
- 「バイオスタウン構想」の推進と新廃棄物変換システム「MMCS」生産拠点の確立
- 自主防災組織の育成と行政の連携による大規模災害への体制強化の確立
- 市民や町内会との協働によるまちづくりの推進
- 行政改革の断行と財政再建の取り組み

【新】防災対策事業

防災強化事業
 災害時の情報伝達を強化するため、特に緊急性を要する津波や高潮等の危険が高い沿岸部住民に対し、防災無線個別受信機の充実を図ります。

災害緊急電話割込装置導入事業
 コミュニティFMを活用した防災対策として、地震発生時や気象警報等の緊急放送を行うため、夜間・休日等の対応が可能な留萌消防本部に災害用緊急電話割り込み装置を設置します。

【新】コミュニティセンター改修事業

地域におけるコミュニティ活動の拠点である市内各コミュニティセンターの改修整備を行います。

港西コミュニティセンター外壁改修工事

【新】ファミリーサポートセンター支援事業
 広く専業主婦や共稼ぎ家庭の子育て支援を進めるため、民間の子育て支援団体と連携を図りながら、ファミリーサポート事業を推進します。

【新】バイオスタウン構想推進事業

平成17年2月10日に国が公表した留萌市バイオスタウン構想を具体的に推進するため、効果の高い事業、実行可能な事業を整理し、全体計画の検討・立案を行います。
 (詳しくは、市のホームページでご紹介しています。)

【継】対岸貿易交流促進事業

対岸貿易促進中期行動計画に基づき、留萌港の利活用促進・地場産業の振興・人材育成先進都市の実現・市民レベルの国際交流促進の4つの戦略目標を定め、中期的な施策展開を図ります。

貿易アドバイザー制度の活用促進

ロシア客船寄港の継続化

日本建築物の調査・研究



昨年10月2日 留萌港に試験寄港したロシア客船

サハリンるもい展(仮称)の開催

【継】フェリー就航推進事業
 留萌港と本州を結ぶフェリー就航の実現を目指し、官民が一体となった誘致活動に取り組みます。

■フェリー誘致PR
 ■船社との情報交換・就航要請



昨年9月18日 北村光世さんを講師に行われた地元食材を使ったのオリーブオイルクッキング

中心市街地活性化事業

融雪機製作研究事業

地産地消るもいの味再発見事業

賑わい交流事業

IT・情報化対応促進事業

るもい農業ベンチャー推進事業

一ズの実施(支援)

セミナー開催

【継】地域経済活性化プロジェクト事業

地域経済の活性化とより一層の効果拡大を目指し、3年目を迎える本事業のメニューの連携を図り、次の事業を実施します。

賑わい交流事業

IT・情報化対応促進事業

るもい農業ベンチャー推進事業

融雪機製作研究事業

地産地消るもいの味再発見事業

中心市街地活性化事業

賑わい交流事業

IT・情報化対応促進事業

るもい農業ベンチャー推進事業

一ズの実施(支援)

平成17年度 留萌市の主要施策一覧

() は新規事業、 () は継続事業

事業名	予算額(一般財源)
健康福祉	
ファミリーサポートセンター支援事業	27万円(27万円)
地域サロン推進事業	61万円(61万円)
産業振興	
北海道東海大学共同調査試験研究事業	60万円(20万円)
森林整備地域活動支援交付金事業	695万円(173万円)
市有林整備事業	1001万円(42万円)
ふるさとの森育成事業	101万円(61万円)
道営経営体育成基盤整備事業	120万円(60万円)
対岸貿易交流促進事業	285万円(185万円)
地域経済活性化プロジェクト事業	217万円(217万円)
情報通信産業支援事業	1500万円(1500万円)
観光案内所運営事業	90万円(90万円)
生活環境	
防災対策事業	150万円(150万円)
バイオスタウン構想推進事業	-
道路整備事業	9599万円(419万円)
除雪車購入事業	2189万円(27万円)
緑化推進事業	380万円(90万円)
浄化槽設置整備事業	880万円(297万円)
公営住宅ストック総合改善事業	447万円(206万円)
公共下水道整備事業	6億5500万円(0万円)

事業名	予算額(一般財源)
都市空間	
沖見海浜公園整備事業	4350万円(20万円)
フェリー就航推進事業	175万円(175万円)
地籍調査事業	5044万円(1389万円)
直轄港湾整備事業	2億4855万円(1245万円)
三泊地区ふ頭用地整備事業	1億6630万円(0万円)
三泊地区臨港道路整備事業	3610万円(74万円)
船場公園整備事業	1億1300万円(430万円)
留萌港利活用計画作成事業	60万円(60万円)
市民活動	
地域人権啓発活動活性化事業	300万円(0万円)
コミュニティセンター改修事業	600万円(150万円)
市民活動推進事業	172万円(0万円)
生涯学習	
旧佐賀家漁場整備検討委員会設置事業	120万円(120万円)
その他	
第5次総合計画策定事業	85万円(85万円)
コミュニティFM広報事業	194万円(194万円)
営口友好港湾提携15周年相互訪問事業	164万円(164万円)

予算額は、万円未満切り捨て。()内は、予算額から国・道の補助金や起債などを除いた一般財源の額です。

解説

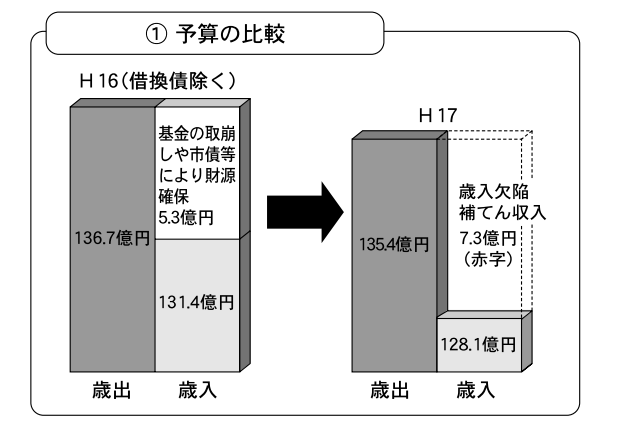
今年予算

収支の状況

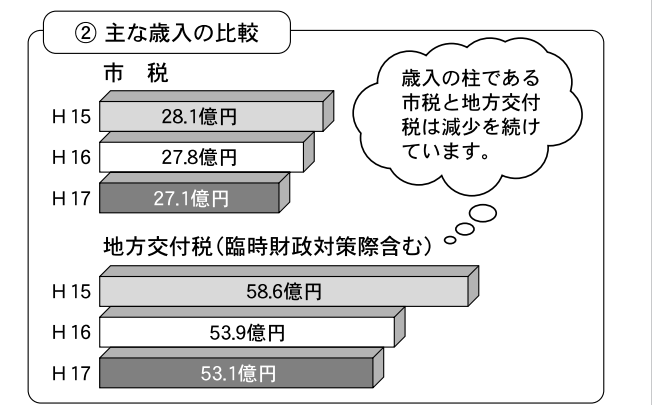
■平成17年度の一般会計予算規模は、約135億4千万円で、平成16年度予算と比較して、マイナス約6億4千9百万円(マイナス4.6%)の減額となりました。

■平成17年度予算編成は、当初約13億8千万円もの収支不足(赤字)が見込まれ、投資的経費や臨時的経費、これまで切り詰めてきた行政経費を市民サービス水準の維持を最大限に考慮した上で見直しを行い、約6億5千万円(職員給与のカット約1億6千万円を含む)の削減を実施しましたが、それでも約7億3千万円の収支不足が生じ、収支の均衡を図れず、「歳入欠陥補てん収入」という形式上の財源を計上し21年ぶりの実質赤字予算となりました。

7億3千万円の赤字予算
-このままでは、1~2年後には赤字再建団体!?-



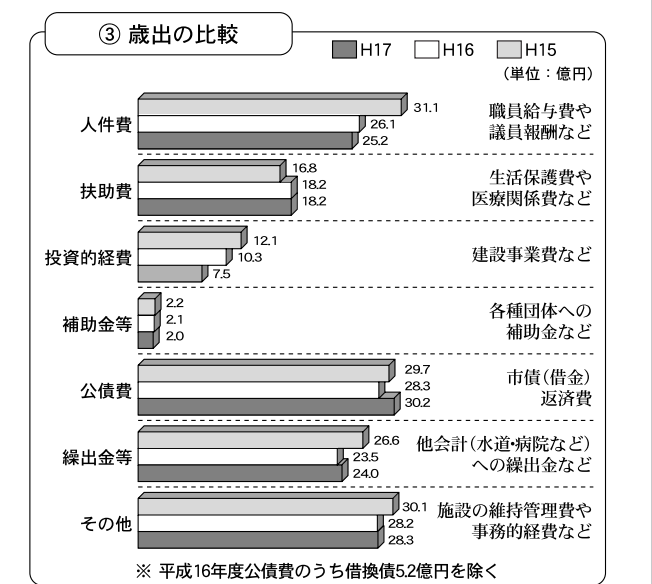
収入の特徴(図1)



■一般財源(使途が特定されず、自由に使える財源)は約3億5千万円減少しています。主な理由は、市税の減収が約7千万円、三位一体改革に伴う地方交付税(臨時財政対策債含む)の削減が約8千万円、さらに平成17年度は基金による財源確保を行わないため、繰入金が約1億8千万円減少したことによるものです。

■市税については、昭和59年度の水準まで落ち込んでおり、ピークである平成5年度(33億6千万円)と比べると約6億5千万円減少しています。

支出の特徴(図2)



■徹底的に見直しを実施している歳出ですが、減少する歳入に見合う歳出へと、さらなる削減が必要な状況となりました。

主な内容は、職員給与や議員報酬のカットなどによる人件費の削減が約9千万円で、投資的経費は、大型事業終了後の建設事業を抑制しているため、約2億8千万円の減となっています。

一方、公債費は約1億9千万円の増で30億円を超え増加の一途をたどっています。

この厳しい財政状況の中、赤字再建団体への転落を回避するための、財政再建計画を策定します。計画の概要・進捗状況については今後の広報誌等で皆様にご説明していきます。

【継】港湾整備事業
直轄港湾整備事業
港湾計画に基づき、背後圏の物流需要に対応した流通拠点港としての役割を果たすため、三泊地区及び古丹浜地区における航路の安全性を確保し、大型船舶による外貿物流需要への対応を図ります。(国費で行う事業費は14億845万円)

■三泊地区泊地(マイナス12m)
■古丹浜地区航路埋没(マイナス10m)

三泊地区ふ頭用地整備事業
船舶の大型化に対応した保管施設用地の確保を図ります。
■埋立造成、土取浚渫、防塵柵 用地確定測量一式

三泊地区臨港道路整備事業
港湾貨物等の円滑な輸送を図るため、岸壁背後から国道232号までの連絡道路及びふ頭内道路を整備します。
■路盤工、磁気探査一式

【継】船場公園整備事業
市民や観光客が憩う中心市街地に接した公園の整備を図ります。パシジョンミュー

資料はコチラ

主要施策(しごと)、予算(よさん)、事務事業評価などの資料は、市役所1階市政情報コーナーで、ご覧ください。

お問い合わせはコチラ

主要施策、予算などのお問い合わせは、コチラにどうぞ

留萌市役所企画財政部
しごと：企画調整グループ ☎42・1809
よさん：財政グループ ☎42・1813

【継】公共下水道整備事業
衛生的で快適な生活環境を

【継】沖見海浜公園整備事業
海浜地の親水性を高め、市民や観光客が憩う海浜公園の整備を図ります。

■中央ゾーン(砂広場)
■北側ゾーン(駐車場、歩道路盤工、法面工、切盛土、緑石工、芝広場階段工、園路工)

【継】道路整備事業
道路整備計画に基づき、生活道路の整備を進めます。今年度の整備予定路線は、次のとおりです。

■西5号通り/千鳥10号通り / 早道通り/潮静13号通り / 元川2号通り/花園11号通り / 黄金橋補強工事実施設計

つくり、きれいな海や川を守るため、公共下水道整備を進めます。今年度は、管渠の整備延長2241m、整備面積6.34haと処理場汚泥棟の増設工事を行います。

コミュニティFM広報事業

「FMもえる」発
ラジオで聞く市役所

この春から、市役所の番組が始まります。留萌市役所では、新たにコミュニティFM「FMもえる」を活用し、市役所からの情報をお伝えしていきます。

そこで、皆様からの知りたい情報のリクエストをお待ちしています。また、ご意見・ご感想がございましたら、どしどしお寄せください。

企画調整グループ：☎42・1809

留萌市情報プラザ

市からのお知らせや防災ワンポイントをお届けします。

■毎週月曜日～金曜日
■朝8:05～・夕5:50～(5分番組)
おもいっきり留萌市～ホットな情報てんこもり～

暮らしに役立つ情報や最新の話をお届けします。

■毎週月曜日
■朝9:45～(15分番組)

今後の放送予定ラインナップ

日付	部署名
4月4日	生活福祉部担当
4月11日	企画財政部担当
4月18日	総務部担当
4月25日	未定

FMチャンネルは
76.9MHz